

「両利きの経営」の理解を深めるための4つの論点

論点1. 両利きの経営に興味をもったきっかけも交えつつ、自己紹介をしてください。(10分)

- ・何がきっかけで両利きの経営に興味を持ったか？
- ・ご自身の現在のお仕事は、既存事業の強化(競争力を高め収益を上げる、深化)に関連するものであるか？あるいは、新規事業の創出(新しい市場や技術、ビジネスモデルを模索する、探索)に関連するものであるか？

論点2: 著書では「サクセストラップ(成功の罠)」をイノベーションが起きない理由とし、各種事例を紹介していますが、あなたが属する組織におけるサクセストラップは何でしょうか？お互い紹介しあいながら議論してください(20分)

論点3: イノベーションが必要な時代においては、組織だけでなく個人も「両利き」である必要性があるとした場合、イノベーティブな人材であるために有効と思われる「探索」活動について議論してください。(20分)

論点4: 著書にて両利きの経営の成功事例として紹介されている Amazon のように、短期的な収益性よりも長期的観点で大胆に意思決定ができる日本企業は多くありません。今後、日本企業が両利きの経営を強化するために必要な施策は何でしょうか？どのような業界の企業がもっと両利きの経営を強化すべきであるかと合わせて議論してください。(20分)

<アイデア出しの観点>

- ・イノベーションストリームのフレームワークにある「深化」の象限から各イノベーションの象限へいけそうな業界はどこか？
- ・「深化の誘惑」や「組織の戸惑い」をどう超えるか？
- ・両利きの経営を行うための4つの要件をどう満たすか？
- ・5つのリーダーシップをどう実践するか？